３　質問紙に関する調査結果

児童生徒質問紙調査結果

1　岡山市の特長及び課題と思われる項目（「自尊感情」「読書」「家庭学習」に関わる項目）

（1）全国と岡山市の結果比較

		小学校			中学校		
		岡山市	全国との差（H29）	全国との差（H28）	岡山市	全国との差（H29）	全国との差（H28）
自尊感情	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある	96.1	1.3	1.0	95.1	0.4	△ 0.1
	自分には，よいところがあると思う	81.7	3.8	3.5	73.7	3.0	3.4
	将来の夢や目標を持っている	86.3	0.4	△ 0.8	67.9	△ 2.6	△ 2.8
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	38.8	2.3	0.5	30.2	1.0	1.1
	学校の図書館（授業以外）や地域の図書館に年に1回以上行く	64.3	△ 2.9	△ 3.9	47.5	5.6	5.2
	読書は好きである	79.8	5.5	3.4	71.3	1.4	1.6
家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしている	67.0	2.5	1.6	49.1	△ 2.4	△ 1.3
	家で学校の宿題をしている	97.5	0.6	0.4	86.6	△ 2.9	△ 2.3
	家で学校の授業の予習をしている	42.3	1.3	△ 0.3	25.8	△ 5.9	△ 4.8
	家で学校の授業の復習をしている	56.3	2.5	△ 0.1	38.4	△ 12.1	△ 10.5

（2）岡山市の平成28年度と平成29年度の結果比較

		小学校			中学校		
		H29	H28	前年度との差	H29	H28	前年度との差
自尊感情	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある	96.1	95.4	0.7	95.1	94.2	0.9
	自分には，よいところがあると思う	81.7	79.8	1.9	73.7	72.7	1.0
	将来の夢や目標を持っている	86.3	84.5	1.8	67.9	68.3	△ 0.4
読書	学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする	38.8	37.0	1.8	30.2	29.3	0.9
	学校の図書館（授業以外）や地域の図書館に年に1回以上行く	64.3	64.8	△ 0.5	47.5	46.9	0.6
	読書は好きである	79.8	78.0	1.8	71.3	71.5	△ 0.2
家庭学習	家で自分で計画を立てて勉強をしている	67.0	63.8	3.2	49.1	47.1	2.0
	家で学校の宿題をしている	97.5	97.4	0.1	86.6	87.8	△ 1.2
	家で学校の授業の予習をしている	42.3	43.0	△ 0.7	25.8	29.4	△ 3.6
	家で学校の授業の復習をしている	56.3	55.1	1.2	38.4	40.5	△ 2.1

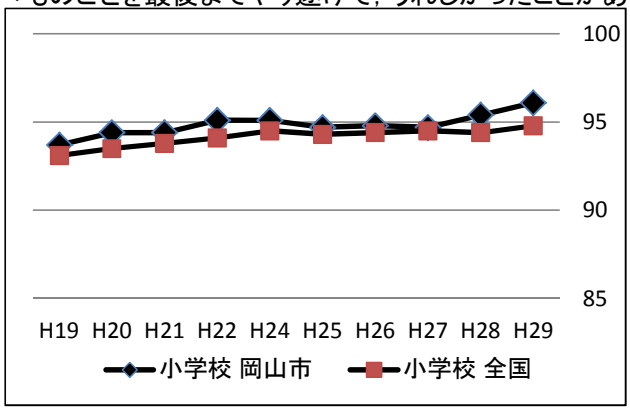
（3）全国と岡山市の経年比較

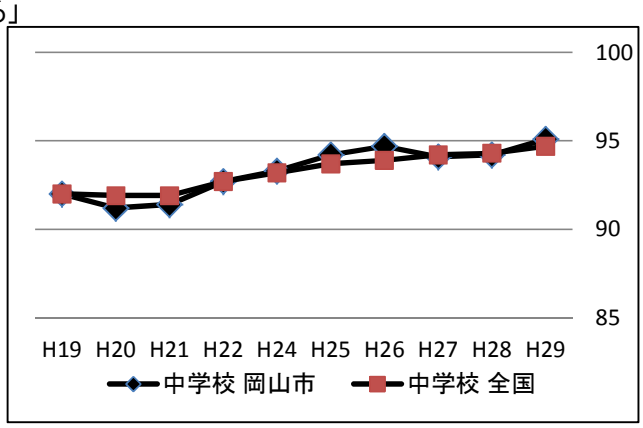
※　平成22年度及び平成24年度は抽出調査のため参考値として掲載。

※　平成23年度は東日本大震災のため実施していない。

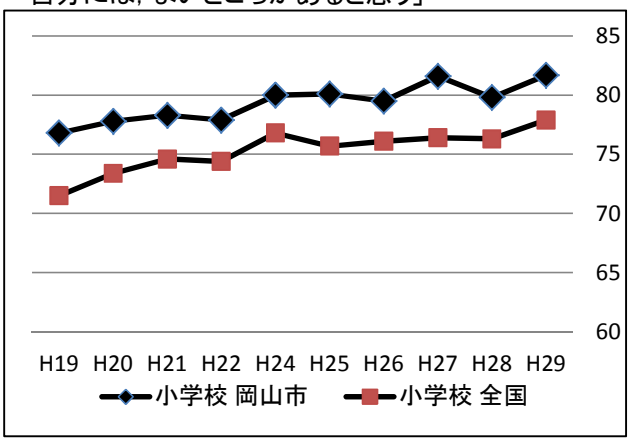
【自尊感情】

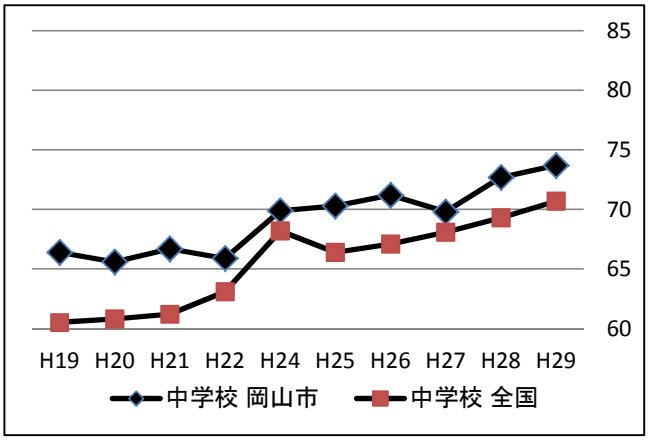
◆「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある」



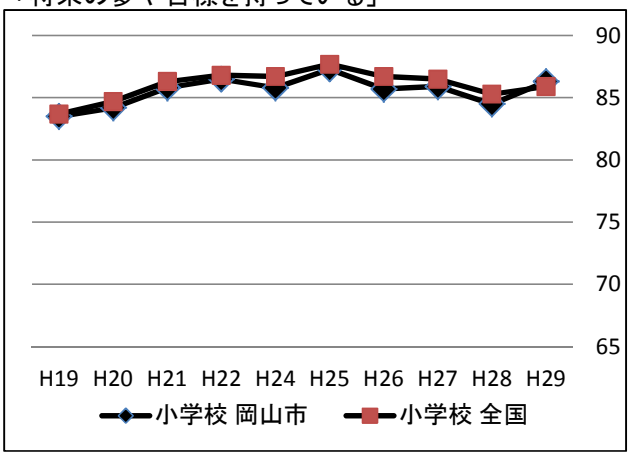


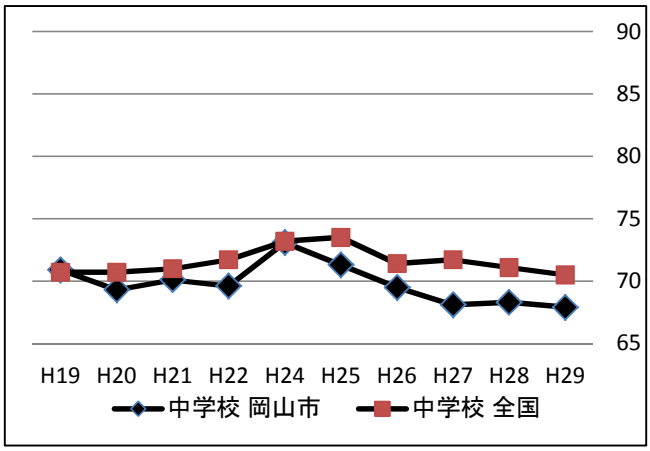
◆「自分には，よいところがあると思う」





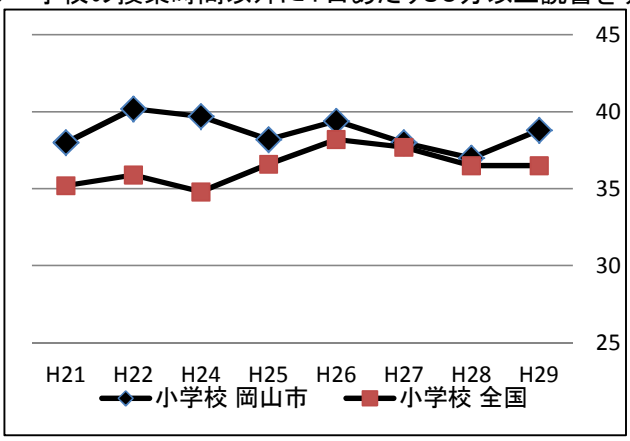
◆「将来の夢や目標を持っている」

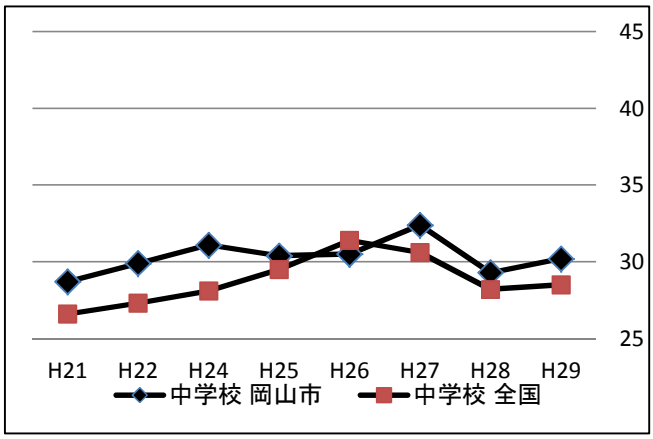




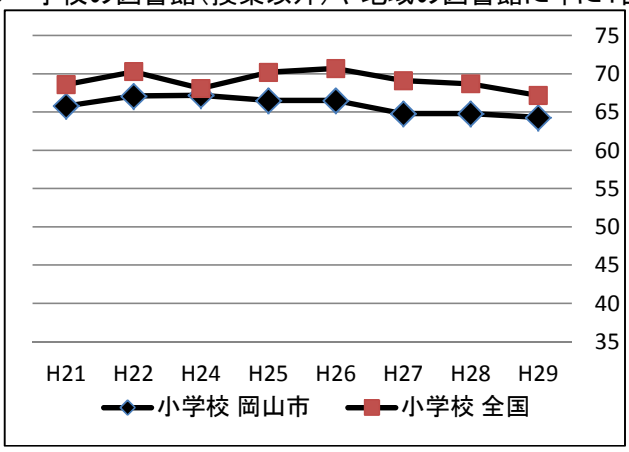
【読書】

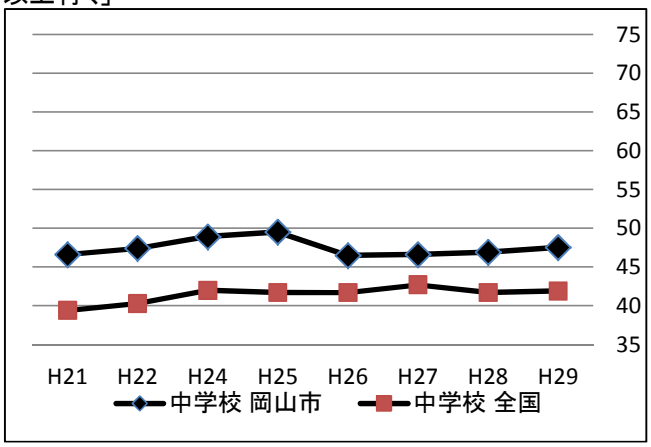
◆「学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をする」



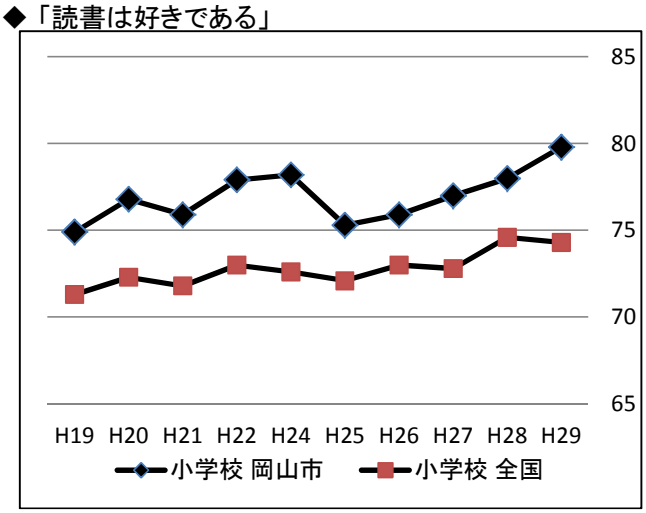


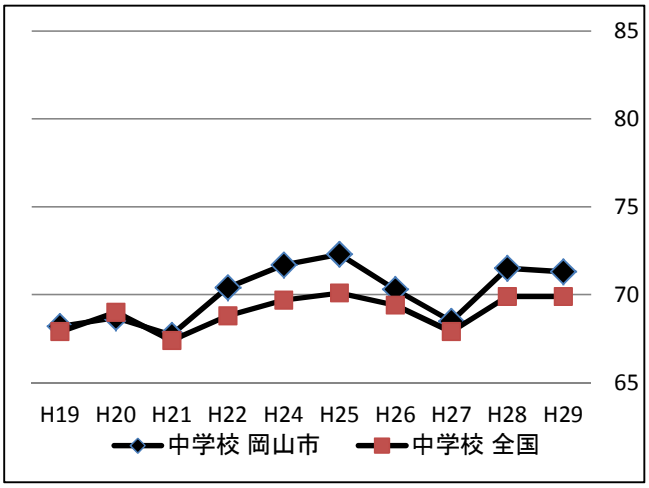
◆「学校の図書館（授業以外）や地域の図書館に年に1回以上行く」





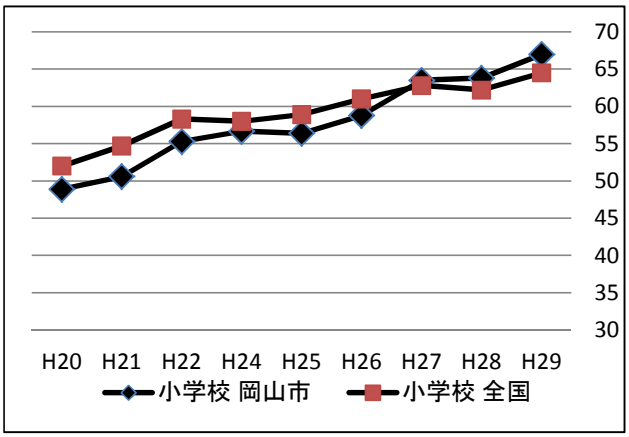
◆「読書は好きである」

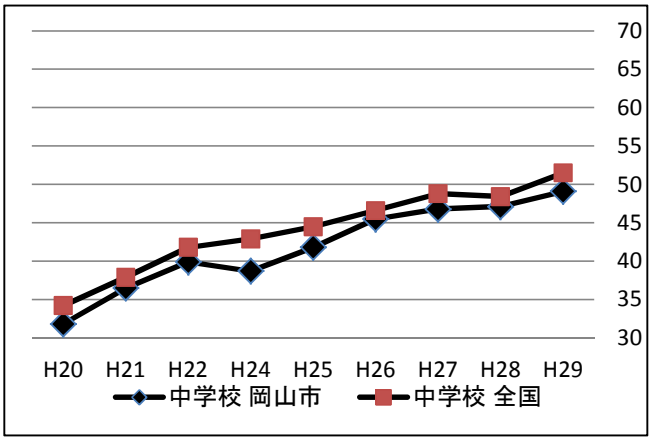




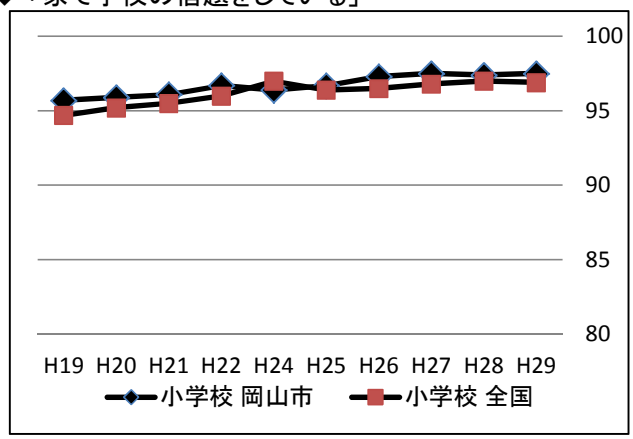
【家庭学習】

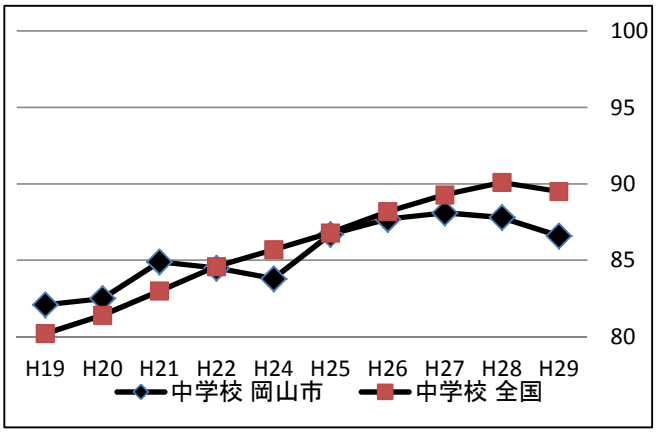
◆「家で自分で計画を立てて勉強をしている」



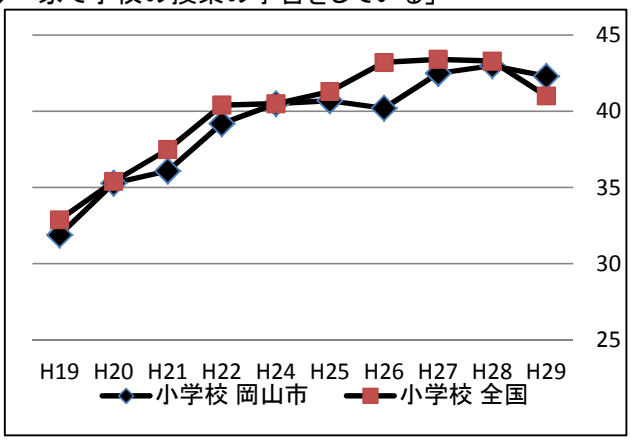


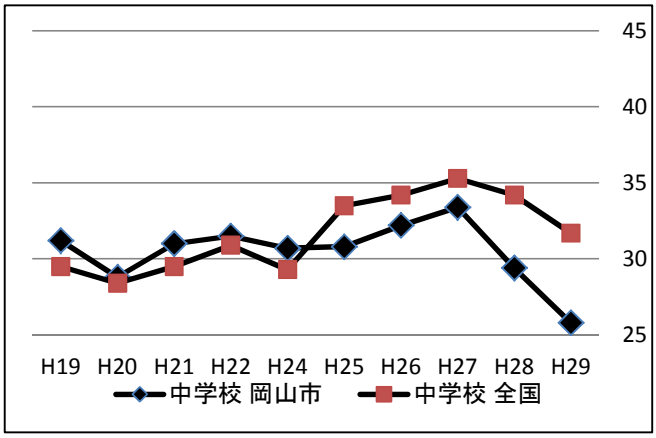
◆「家で学校の宿題をしている」



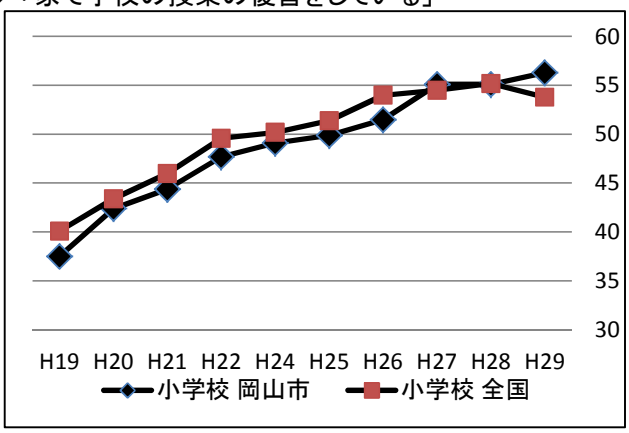


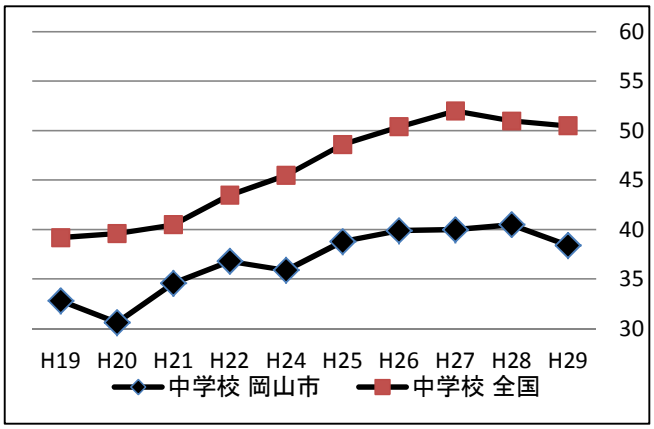
◆「家で学校の授業の予習をしている」





◆「家で学校の授業の復習をしている」





（４）児童生徒質問紙調査結果から

【自尊感情】

〈関連項目の結果の状況〉

◇　「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある」という達成感をあらわす項目では，経年変化からも，肯定的な回答の割合が高く，全国平均同等か平均以上を維持していることが読み取れる。今年度は，小・中学校ともに昨年度を上回っている。

◇　「自分には，よいところがあると思う」という自己肯定感をあらわす項目では，小・中学校とも昨年度を上回っており，どちらも３ポイント以上全国平均を上回っている。「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」という項目についても小・中学校ともに全国平均を上回っており，教師の声かけ等が自己肯定感の高まりに影響を与えていることが読み取れる。

◇　課題になっている「将来の夢や目標を持っている」という項目では，小学校においては昨年度より上昇し，全国平均を若干上回った。中学校では，ここ近年全国平均を下回っている。

《今後の取組》

◆　各種調査を活用し，子どもたち一人一人の実態を把握することで，個に応じた課題を設定する。その上で，子どもたち一人一人の成果や努力を認めることで，達成感，自己肯定感を高めることが大切である。

◆　子どもたちが将来の夢や目標を持つことができるようにするために，小学校では，将来就きたい仕事や夢について考えるようなキャリア教育を実施することが大切である。中学校においても，子どもたち自身が夢や目標を自覚できるような指導を行っていくことが大切である。総合的な学習の時間や特別活動など，様々な教育活動の中で，将来の夢や目標を持つことができるような系統的な学習活動が必要である。

【読書】

〈関連項目の結果の状況〉

◇　学校の授業時間以外に１日３０分以上読書をしているという回答が，小・中学校ともに昨年度を上回るとともに，全国平均を上回っている。また，「読書は好きである」という項目では，肯定的な回答が小・中学校ともに全国平均を上回っているが，特に小学校では全国平均より５ポイント以上高い結果となっている。読書が好きであるとともに，読書の習慣が身に付いている子どもたちが多い現状が読み取れる。

◇　授業以外での図書館の利用については，小学校においては全国平均より低い状況が続いているが，全国平均との差は縮まっている。

《今後の取組》

◆　学校図書館司書や司書教諭等と連携しながら，より一層，子どもたちが読書に慣れ親しむ取組や環境づくりをしたり，家庭と連携し，読書好きな子どもたちを増やしたりする取組をしていくことが大切である。

◆　「メディア・コントロール」等の取組と関連させて読書に親しむ機会を設けることなどが考えられる。

【家庭学習】

〈関連項目の結果の状況〉

◇　「家で自分で計画を立てて勉強をしている」という項目では，小・中学校ともに年々上昇傾向にあり，平成２０年度と今年度を比較すると小・中学校ともに，１５ポイント以上上昇している。小学校では昨年度に引き続き全国平均を上回った。中学校では昨年度の市平均よりポイントは上がったが，全国平均を下回り，全国平均との差が若干広がっている。

◇　「家で学校の宿題をしている」という項目では，中学校において，平成２５年度は全国平均とほぼ同水準だったが，それ以降，全国平均を下回り，その差が年々開きつつある。また，「家で学校の授業の予習をしている」「家で学校の授業の復習をしている」という２つの項目においても昨年度の水準を下回り，全国平均との差も大きく開いている。中学校における家庭学習の充実が，昨年度同様，本市の課題と言える。

《今後の取組》

◆　家庭学習の充実のために，授業と家庭学習が有機的につながるような工夫が必要である。例えば，授業の終末で，家庭学習の内容や方法について具体的に触れることで，授業の内容を踏まえた学習を家庭でより行いやすくしたり，家庭で取り組んできた内容を用いて授業を展開したりすることで，家庭学習への子どもたちの意欲を高めることが考えられる。

◆　子どもたちが家庭学習の習慣を身に付けられるような手立てを考える必要がある。そのために，子どもたちの家庭学習の状況などを教師が把握し，子どもの実態に合った課題を出すことで，継続して家庭学習に取り組むことができるようにすることが大切である。「家庭学習の記録」等で子どもたちの家庭学習の様子を把握する場合，テスト期間だけでなく，普段の学習状況がつかめるよう，工夫を図ることが必要である。また，日々の努力を認めるなどのフィードバックをより一層大切にしたり，一人一人の実態に応じたアドバイスや支援を行ったりすることにより，子ども自身が達成感をもつことができるようにすることが家庭学習の習慣化には欠かせないものと考える。

２ 「よりよい授業づくり」「補充学習」に関わる項目

（1）全国と岡山市の結果比較

		小学校			中学校		
		岡山市	全国との差（H29）	全国との差（H28）	岡山市	全国との差（H29）	全国との差（H28）
よりよい授業づくり	授業のはじめに，目標（めあて・ねらい）が示されていた	89.5	1.3	2.4	91.1	3.3	3.0
	授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていた	79.8	3.6	5.0	65.0	△ 1.1	△ 1.5
	授業では，学級の児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていた	85.0	0.5	2.0	84.0	2.2	2.7
	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていた	85.8	1.1	1.1	84.1	△ 0.3	0.1
	授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた	93.6	4.9	5.3	84.2	3.9	2.7
補充学習の充実（家庭学習）	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たり1時間以上勉強をする	68.4	4.0	2.5	60.9	△ 8.7	△ 9.3
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たり1時間以上勉強をしている	55.0	△ 2.3	△ 2.9	58.2	△ 11.2	△ 9.6

（2）岡山市の平成28年度と平成29年度の結果比較

		小学校			中学校		
		H29	H28	前年度との差	H29	H28	前年度との差
よりよい授業づくり	授業のはじめに，目標（めあて・ねらい）が示されていた	89.5	90.0	△ 0.5	91.1	87.9	3.2
	授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていた	79.8	81.1	△ 1.3	65.0	61.6	3.4
	授業では，学級の児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていた	85.0	85.4	△ 0.4	84.0	80.5	3.5
	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていた	85.8	86.2	△ 0.4	84.1	84.2	△ 0.1
	授業で扱うノートには，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた	93.6	93.2	0.4	84.2	79.5	4.7
補充学習の充実（家庭学習）	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たり1時間以上勉強をする	68.4	65.0	3.4	60.9	58.6	2.3
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たり1時間以上勉強をしている	55.0	54.1	0.9	58.2	58.2	0.0

（３）児童生徒質問紙調査結果から

【よりよい授業づくり】
〈関連項目の結果の状況〉

◇　小学校では，昨年度に比べると，数値が下がっている項目が多いが，全体的には，高い数値を維持するとともに全国平均を上回っている。中学校では，昨年度に比べ多くの項目で数値が上がっており，一定の成果が見られる。

◇　「授業のはじめに，目標（めあて・ねらい）が示されていた」という項目については，小学校では９０％近くが，中学校では９０％以上が肯定的な回答であり，特に中学校は全国平均を大きく上回っており，改善が進んでいる。

◇　「学習内容を振り返る活動をよく行っていた」という項目については，中学校が昨年度より改善されてはいるが，７０％を超えるには至っていない。小学校，中学校ともに，「目標（めあて・ねらい）が示されていた」については成果の定着が見られるのに対し，「学習内容を振り返る活動をよく行っていた」については，依然として課題が見られる。

《今後の取組》

◆「授業これだけは！」の取組が定着しつつあり，一定の成果をあげていることを示している。引き続き「めあて」と「まとめ」の徹底に加え，次のようなポイントを踏まえ充実させていくことが大切である。

　○　本時で育てたい資質や能力をもとに「めあて」と「まとめ」をつくる。「本時の目標」と「めあて」と「まとめ」が一貫したものになるようにする。

　○　「めあて」は，本時の目標を達成するために児童生徒が何を学習すればよいのか，具体的な見通しがもてる内容にする。

　○　「まとめ」は，本時の目標が達成された時の児童生徒の言葉を想定する。

◆　話合い活動については，話す目的がはっきりしているか，話す内容が子どもたちの実態に適しているか，話す内容に広がりや深まりがあるかなどを吟味し，目的を明確にした話合い活動を通して，子どもたちの思考がどう変化しているかを把握することが大切である。

◆　「主体的・対話的で深い学び」の視点を生かした授業改善について，趣旨を理解し，「めあて」と「まとめ」，話合い活動等の充実のための手立てを工夫していくことが求められる。

【補充学習の充実】
〈関連項目の結果の状況〉

◇　小学校における学習時間は平日が全国平均を上回っているものの，休日は下回っている。

◇　中学校においては，昨年度と同様，平日・休日ともに全国平均よりも大きく下回っている。

《今後の取組》

◆　家庭学習への取組に課題がある子どもたちに対しては，個別に具体的な指導をするなどして，補充的な学習への取組を進めることが大切である。

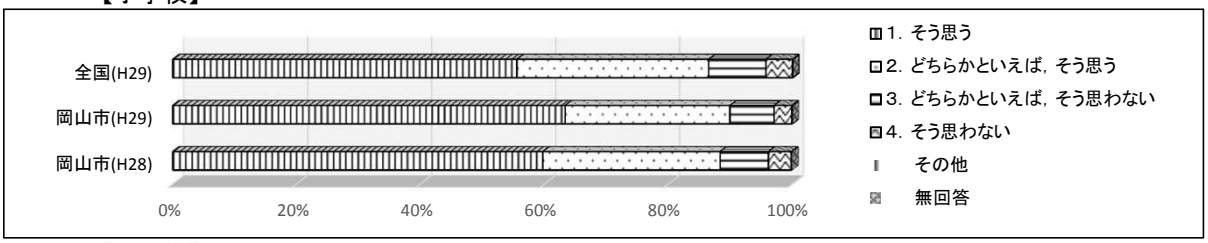
◆　テレビゲームやスマートフォン等の使用状況の改善に向け，今後も継続して家庭等との連携をより充実させていき，子どもの学習時間の確保につなげていく必要がある。

３ 岡山市の今年度の特徴と思われる項目

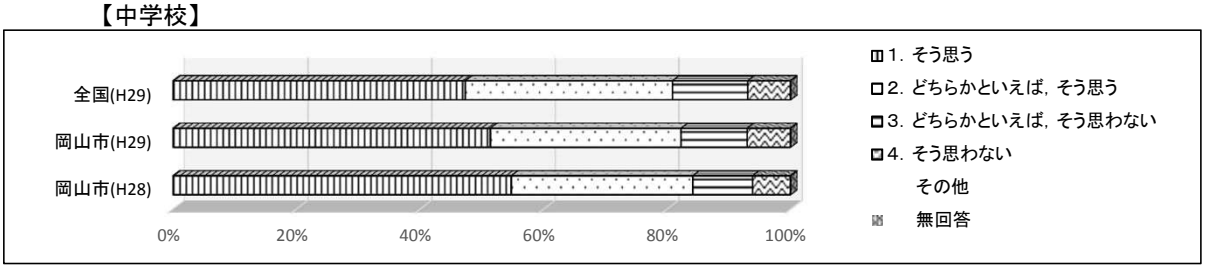
（1）学校生活

◆「学校に行くのは，楽しいと思う」

【小学校】



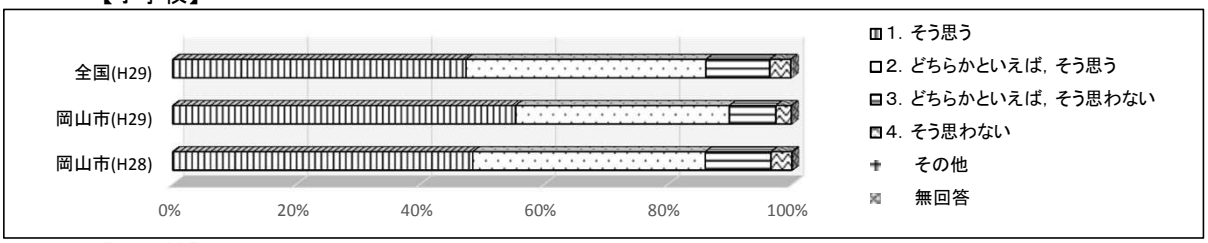
【中学校】



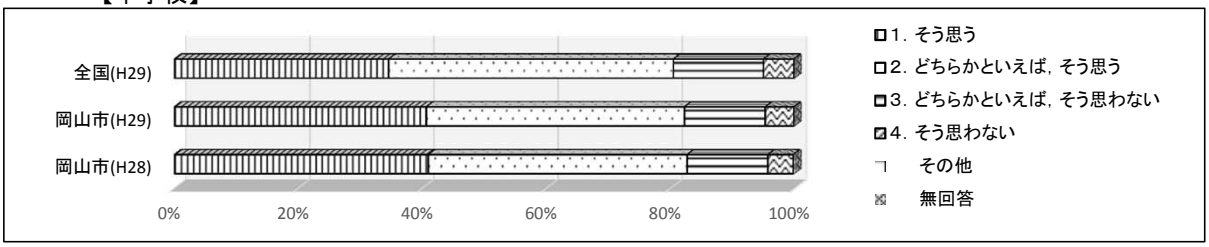
◇　小・中学校ともに，「そう思う」「どちらかといえば，そう思う」と回答した割合が，昨年度に引き続き，全国平均と比べて高い状態を維持している。しかし，中学校では，「そう思う」と回答した割合が減少し，「そう思わない」と回答した割合が微増している。

◆「先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思う」

【小学校】



【中学校】

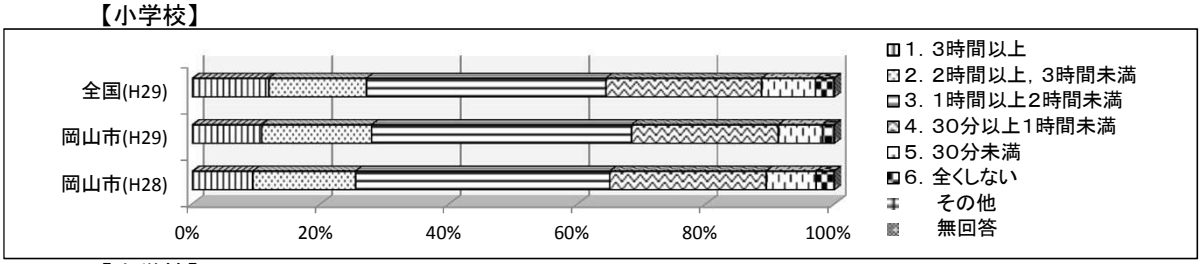


◇　小・中学校ともに，「そう思う」「どちらかといえば，そう思う」と回答した割合が，全国平均と比べて高い。小学校では，「そう思う」と回答した割合が，昨年度に比べ，増加し，「どちらかといえば，そう思わない」「そう思わない」と回答した割合が，減少している。

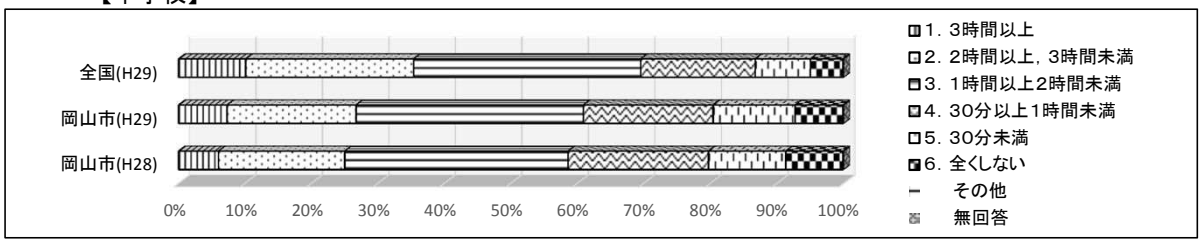
（2）学習時間，学習状況

◆「授業時間以外の平日１日当たりの勉強時間（塾，家庭教師等を含む）」

【小学校】



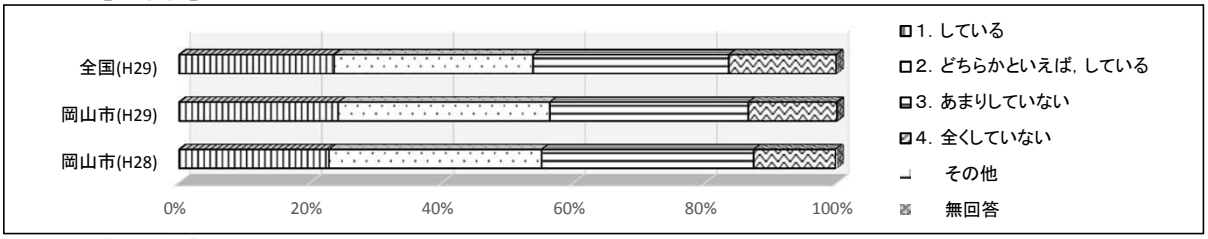
【中学校】



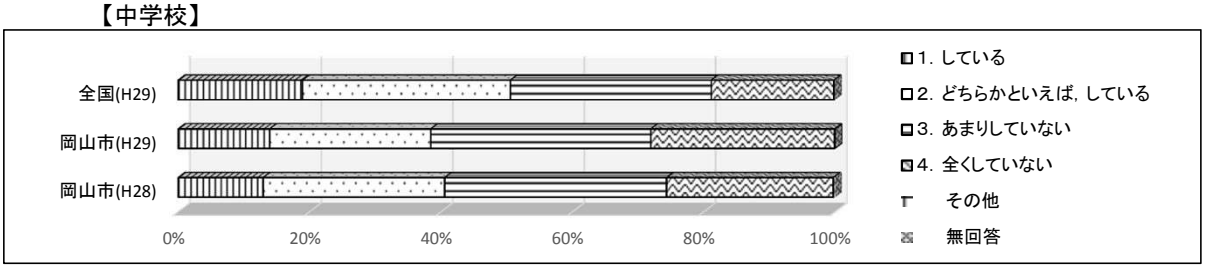
◇　小・中学校ともに家庭学習の時間が増加している。小学校では，１時間以上する割合が全国平均以上だが，中学校では，全国平均以下であり小学校より７．５ポイント低い。

◆「家で，学校の授業の復習をしている」

【小学校】



【中学校】

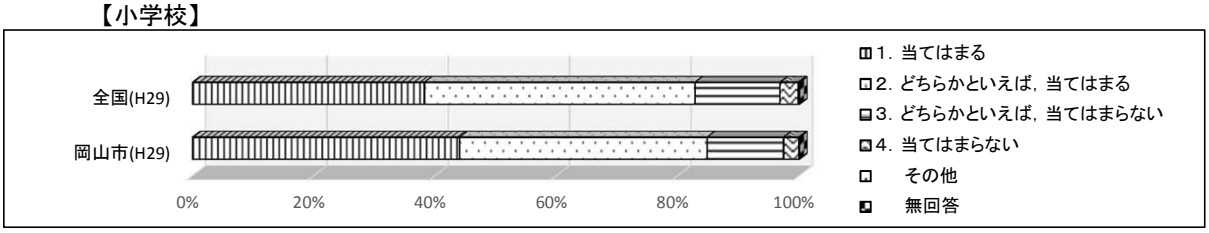


◇　小学校では、「そう思う」「どちらかといえば，そう思う」と回答した割合が，全国平均と比べて高い。中学校では，小学校に比べ、１７．９ポイント低くなっている。

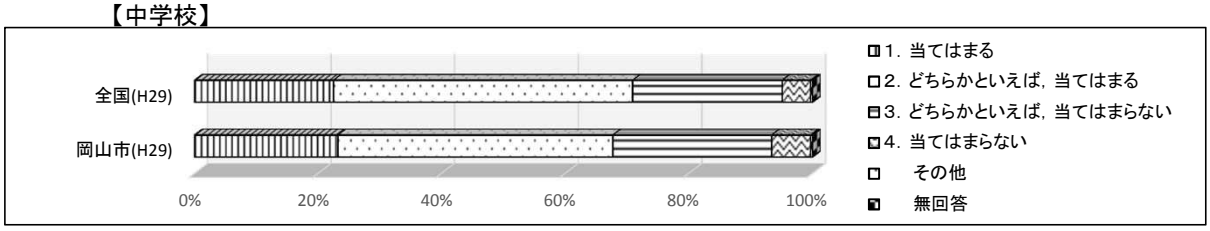
◆「授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かしている」

※平成29年度新設の設問

【小学校】



【中学校】



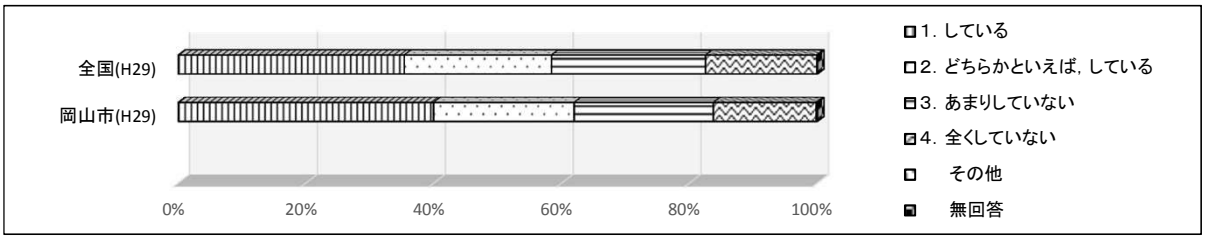
◇　小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」と回答した割合が，全国平均と比べて高い。

（3）基本的生活習慣

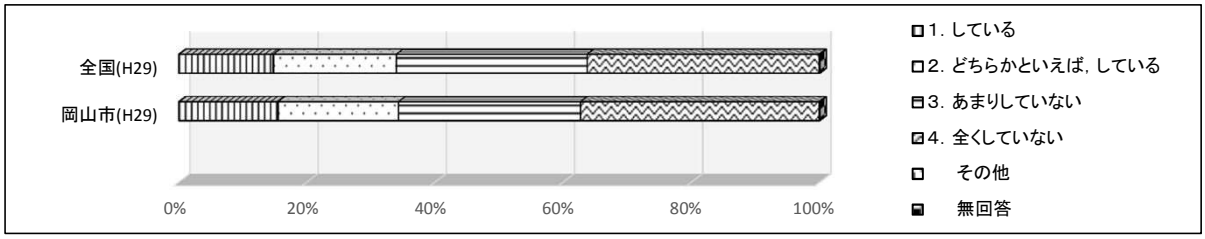
◆「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか」

※平成29年度新設の設問

【小学校】



【中学校】

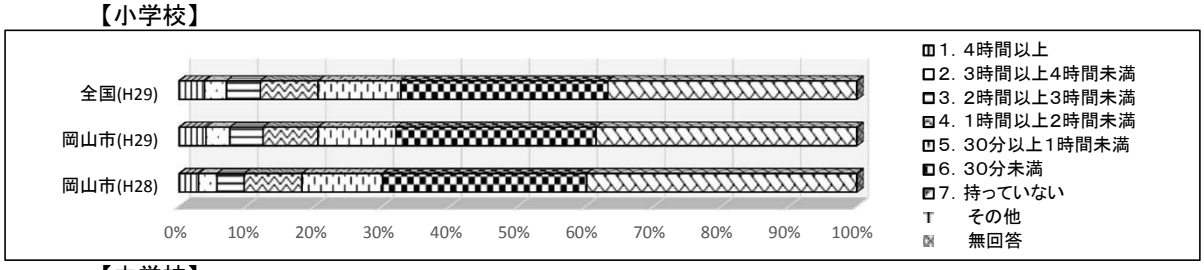


◇　小学校では，「している」「どちらかといえば，している」と回答した割合が，全国平均と比べて高い。

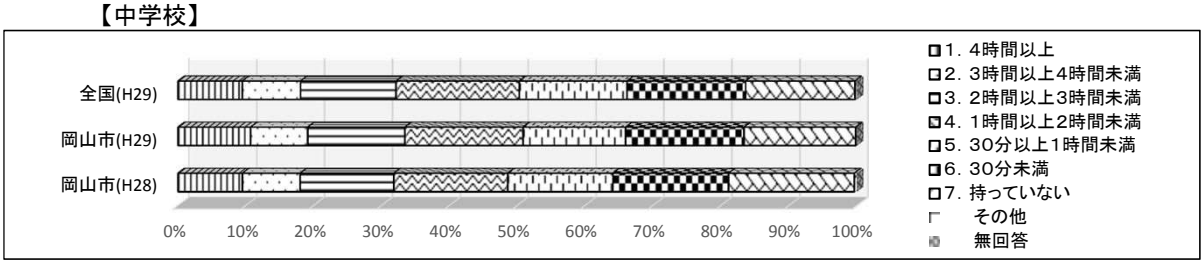
　中学校では，「している」「どちらかといえば，している」と回答した割合が，全国平均を比べて低く，小学校よりも低い。

◆「平日１日当たりの携帯電話・スマートフォン使用時間（それらを使用したゲームの時間は除く）」

【小学校】



【中学校】



◇　中学校において昨年度と比べ，使用時間は増加しており，全国平均と比べても，依然，使用時間が長い状況は変わらない。所持している生徒の割合は８０％を超えている。

　また，１時間以上使用している生徒の割合は５０％を超えている。

◇　小学校においては，所持している割合が増加し６０％を超えている。使用時間も中学校同様に増加している。